



SDGsへの企業の取組み(SDGs経営)

持続可能な開発目標 (SDGs) は、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで策定された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として残さない (leave no one behind) ことなどを謳っています。

国では、企業等の経営戦略へのSDGsの組み込みを推進しており、SDGsと経営を結び付けることで企業価値を高めるべく取組みを進めている企業が多くみられるようになって来ています。

《17の目標》

- 目標1 貧困をなくそう：あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
- 目標2 飢餓をゼロに：飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
- 目標3 すべての人に健康と福祉を：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
- 目標4 質の高い教育をみんなに：すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- 目標5 ジェンダー平等を実現しよう：ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワメントを行う
- 目標6 安全な水とトイレを世界中に：すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
- 目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに：すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
- 目標8 働きがいも経済成長も：包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する
- 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう：強靱 (レジリエント) なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
- 目標10 人や国の不平等をなくそう：各国内及び各国間の不平等を是正する
- 目標11 住み続けられるまちづくりを：包摂的で安全かつ強靱 (レジリエント) で持続可能な都市及び人間居住を実現する
- 目標12 つくる責任 つかう責任：持続可能な生産消費形態を確保する
- 目標13 気候変動に具体的な対策を：気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- 目標14 海の豊かさを守ろう：持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
- 目標15 陸の豊かさも守ろう：陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
- 目標16 平和と公正をすべての人に：持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効



果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう：持続可能な開発実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

これらの目標のうち、1～6は貧困やジェンダーなどの「社会」をテーマとしたもので、7～12までは雇用や格差問題の「経済」をテーマとしたもの、13～15までは気候変動や海洋資源などの「環境」をテーマとしたもの、16と17は平和の実現やパートナーシップ強化といったSDGs達成のために欠かせない取り組みが設定されています。

企業がSDGsへ挑戦するにあたり注意すべきは、見せかけでなく確実に取り組むことで、社内では、特定の部署の人間のみならず、企業全体としてSDGsに挑戦することをあらためて意識しておきましょう。

経営理念・指針との統合により戦略の方向を決定するのはもちろん、現場の従業員レベルにも情報を発信し、全社的な取り組みに向けて社内での共感を高めなければいけません。

また、実際に行動を起こした成果は、自社のSDGsへの取り組みとして社外へ積極的に発信しましょう。外部への公表は大切で、優れた取り組みをおこなっていたとしても、それを外部に発信しなければ、SDGsを重視しない企業であるとみなされてしまう恐れがあります。

SDGsは、貧困・教育・環境破壊・平和などジャンルは多岐にわたります。ただし、1つの企業がすべての目標に等しく取り組む必要はありません。自社の事業内容や企業理念などを鑑みて、貢献できる目標は何か検討することが大切です。

SDGs 経営とは

SDGs 経営とは、SDGsの目標達成を目指しながら、企業経営を行っていくことを意味します。

SDGs 経営の具体的な実施方法については、経済産業省の「SDGs 経営ガイド」や、国際的な組織3団体による「SDG Compass SDGsの企業行動指針-SDGsを企業はどう活用するか-」に示されています。

SDGs 経営ガイドでは、SDGs 経営の実践方法も解説されています。例えば、重要課題を特定し、資源を投入することや社会課題を解決するイノベーションを「協創」すること、「科学的・論理的」な検証・評価を徹底することなどが綴られています。

SDG Compassでは、SDGsの目標達成に最大限貢献できるよう、企業がSDGsと経営戦略の整合性をとり、SDGsへの貢献を測定し、管理していく指針として、5つのステップを提示しています。

ステップ1 SDGsを理解する

企業がSDGsに関し十分に理解することを支援するものである。

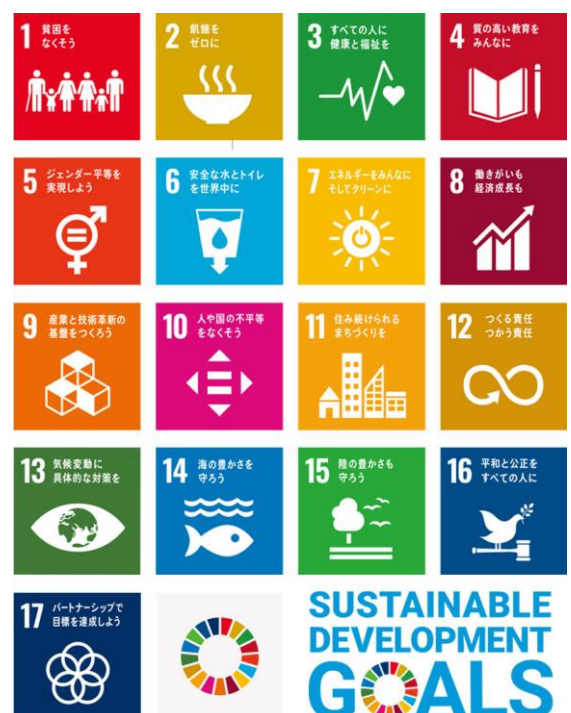
ステップ2 優先課題を決定する

SDGsによってもたらされる最も重要な事業機会をとらえ、リスクを減らすために、企業は、そのバリューチェーン全体を通して、SDGsに関する現在および将来の正および負の影響を評価し、それに基づき、それぞれの優先的に取り組む課題を決定する。

ステップ3 目標を設定する

目標の設定は、事業の成功にとって重大であり、企業全体を通じ優先的事項の共有を促進し、パフォーマンスを改善する。

企業は、その目標をSDGsと整合させることによって、企業のリーダーは持続可能な開発に対す



る明確なコミットメントを示すことができる。

ステップ4 経営へ統合する

中核的な事業と企業ガバナンスに持続可能性を統合し、企業内のすべての機能に、持続可能な開発目標を組み込むことは、設定された目標を達成する上で鍵となる。

共有された目的を追求し、組織的な課題に取り組むためには、バリューチェーン全体を通じて、そのセクター内、あるいは、政府や市民社会団体とのパートナーシップにより協働していく必要がある。

ステップ5 報告とコミュニケーションを行う

企業は、共通の指標や共有された優先課題を活用して、持続可能な開発に関するパフォーマンスを報告することができる。SDG Compass は、企業が、SDGs に関する事項を、多くのステークホルダーとの意見交換や報告に導入していくことを推進する。

企業にとってのSDGsの重要性

SDGs は、貧困や健康、教育、気候変動、環境劣化など、企業にとって関連のある広範な課題を扱うので、企業戦略を地球的優先課題につなげることに役立ちます。企業は、その戦略、ゴール、活動などを立案し、運用し、周知し、報告する上で、それら全体を包括するフレームワークとして、SDGs を利用することができます。以下のような多様なメリットを受けることができます。



ちばSDGs

◆将来のビジネスチャンスの見極め

SDGs は、地球規模の公的ないしは民間の投資の流れを、SDGs が代表する課題の方向に転換することを狙いとしている。そうすることにより、革新的なソリューションや抜本的な変革を進めていくことのできる企業のために、成長する市場を明確にしている。

◆企業の持続可能性に関わる価値の向上

企業の持続可能性のための理論的根拠はすでに十分に確立されているが、(環境コストなどの) 外部性が益々内部化されるに伴い、SDGs は、たとえば、企業が資源をさらに効率的に利用し、あるいは、より持続可能な代替策に転換するような、経済的なインセンティブを強化する。

◆ステークホルダーとの関係の強化、新たな政策展開との同調

SDGs は、国際、国家、地域レベルで、ステークホルダーの期待と将来の政策の方向性を反映している。

SDGs と経営上の優先課題を統合させる企業は、顧客、従業員その他のステークホルダーとの協働を強化できる一方、統合させない企業は、法的あるいはレピュテーションに関するリスクに益々さらされるようになる。

◆社会と市場の安定化

社会が機能しなければ、企業は成功できない。SDGs の達成に投資することは、ルールに基づく市場、透明な金融システム、腐敗がなく、良くガバナンスされた組織など、ビジネスの成功に必要な柱を支援することになる。

◆共通言語の使用と目的の共有

SDGs は、共通の行動や言語の枠組みを提供することにより、企業が、その影響やパフォーマンスについて、より一貫して、そして、より効果的に、ステークホルダーと意見交換を行うことを支援する。SDGs は、世界の最も緊急な社会的課題に取り組むために相互に協力できるパートナーを結びつける。

中小企業にとってのSDGs 経営

中小企業やベンチャー企業などは、これからSDGs 経営を始めるといったケースが多いかと思

われます。また、規模としては大きくないため、SDGs 経営へどのように取り組んでいくべきかわからないこともあるでしょう。そこで、中小企業が SDGs 経営を実施するポイントをご紹介します。

◆中小企業が SDGs に取り組むメリット

企業規模を問わず、投資家からの評価が得られやすくなります。

SDGs 経営を推し進めることで、競争力強化や企業価値向上につながります。また、中小企業は地域市場が土壌であることが多いため、中小企業が活躍することで、地方創生にもつながります。

さらに、新規事業の創出や人材獲得、新規ビジネスパートナーの獲得などのネットワーク拡大なども期待できるため、企業の成長がより一層加速することが期待されます。

◆中小企業が SDGs に取り組むときの課題

中小企業が SDGs に取り組んでいく際には、いくつかの課題が生まれるものです。例えば、SDGs を推進する人材不足は直面しやすい課題です。また資金不足の課題もあります。

これについては、国の融資や支援を利用することが一つの解決策といえるでしょう。

また、何から始めればいいのかわからない、取り組むべき SDGs 目標がわからないということもあるでしょう。その場合は、まず SDGs の背景を理解し、自社のビジネスに適用させることが重要です。

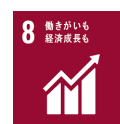
企業の取組み提案

SDGs の目標の中でも、自社に合った取組みやすいものから実施することも一つの手法です。

◆目標 5 「ジェンダー平等を実現しよう」

目標 8 「働きがいも経済成長も」

ハラスメントの防止や長時間労働の是正、休暇制度の創設、人事制度の見直しなど、従業員の働く環境や働きがいの改革を行うなど、ワークライフバランス、健康経営などを重視することで、若者の採用、定着率の向上につながる。



◆目標 7 「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

目標 13 「気候変動に具体的な対策を」

再生可能エネルギーの利用や省エネを推進することで、環境を重視している企業との取引チャンスが増える。



◆目標 12 「つくる責任 つかう責任」

目標 14 「海の豊かさを守ろう」

プラスチック製品のリサイクル、利用削減などにより、企業イメージの向上、代替品などの新商品を生み出す機会ともなる。

◆目標 9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」

IT化、デジタル化、キャッシュレス化を促進することで、企業競争力の向上、業務の効率化、顧客の利便性の向上などにつながる。



◆目標 11 「住み続けられるまちづくりを」

事業継続計画（BCP）の策定、定期的な災害時訓練の実施などにより、災害発生時に早期の復旧ができ、サプライチェーンの拡大につながる。

防犯対策の強化を！

最近、工業団地周辺においてエアコン室外機の窃盗事件が数件発生しました。

各事業所におきましては、就業後の鍵の確実な施錠、資機材の屋内等への収納などに十分注意し、改めて防犯対策の徹底をお願い致します。

なお、不審者(車)を見かけたときは、最寄りの交番又は印西警察署にご連絡ください。

2023年4月から、中小企業でも月60時間を超える時間外労働に対する割増賃金が引き上げられます。

これまで、大企業のみ月60時間を超える残業割増賃金率が50%となっていました。2023年4月より中小企業においても大企業と同様に25%から50%に引き上げることになりました。

時間外労働が60時間を超えてしまった場合、2つの対応が必要です。

★割増賃金率の引き上げ

超えた時間に対して、50%以上の割増賃金率による割増賃金を支払う。

★代替休暇の活用

割増賃金率の引き上げ分(25%)の支払いに代えて代替休暇(有休)を与える。

(※) 中小企業に該当するかは、①または②を満たすかどうかで企業単位で判断されます。

業種	① 資本金の額または出資の総額	② 常時使用する労働者数
小売業	5,000万円以下	50人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
上記以外のその他の業種	3億円以下	300人以下

※長時間労働は、従業員の心身の障害、労災事故にもつながりますので、適切な労務管理に努めましょう。

ご存じですか?! 適応障害について

適応障害とは、新たな社会環境にうまく慣れることができず、抑うつ気分、不安感、不登校、職場不適応、出勤拒否、対人トラブルなど、様々な症状や問題が現れて、社会生活に支障を来す心の疾患です。

特に、就学、転校、就・転職、職場での配置転換や転勤、結婚・離婚、近親者との死別といった身の回りに大きな環境変化が生じて、その新たな環境への適応を迫られた際に発症するケースが多いと言われます。

症状は一過性のもので、原因となるストレスから離れると症状は改善しますが、逆にストレスからすぐに離れることができない状況が続くと、症状が悪化したり長引くこともあります。

また、ストレスに対して適切に対処せず『我慢しなければ』『自分の努力で乗り越えよう』とすれば、症状は慢性化し、重篤な疾患を引き起こしかねません。

ストレスの多い現代社会において適応障害は、誰にでも起こりうる身近な心の病と言えます。

悩みは一人で抱え込まず、相談することが大切です。

また、適応障害の人に周りが出来るサポートは、①変化の気づき、
②環境調整があります。

理解とともに、自分が出来る範囲でサポートすることで、早期の改善を目指す事ができます。



さよなら ~そして~ ありがとう

白井の湯♨

白井の湯(第1ブロック)は、本年1月31日(火)をもって25年間の営業を閉じました。店内には、多くの利用者の感謝の気持ちが綴られた大きな寄せ書きが何枚もあり、地元のお客さんのほか、県外などの遠方のお客さん、

家族3世代に渡るお客さんなど、多くのファンから愛されていたことが伺えました。

会員企業からも、大変残念がられるお声をお聞きました。

当協議会も、コロナ禍の講習会時には、公民センター館内での飲食が来ない時や急なお弁当対応等、大変お世話になりました。ありがとうございました。



協議会からのお知らせ

※~※~ 2023年度年間予定表 ~※~※

2023年度年間予定表(行事・会議・講習会)をホームページ『年間予定表』に掲載しておりますので、ご参照ください。

なお、変更があった場合は、その都度更新いたしますので、最新情報はホームページによりご確認ください。

~基礎資料ご提出のお願い~

当協議会では、2年に一度会員企業基礎資料のご提出をお願い致しております。この資料は、業務内容の把握や従業員数による会費算定の資料となります。ご担当者様や連絡先の変更がある場合もご記載くださるようお願いいたします。ご提出は、3月3日(金)までとなっておりますので、よろしくお願い致します。なお、ご提出が無い場合は前年度同様とさせていただきますので、ご了承ください。

《 駐車場・空き情報のご案内 》

当協議会で管理しております駐車場に空きがございますので、ご案内いたします。

【第1駐車場】

- ◆住所◆ 白井市名内 374-1・375
- ◆台数◆ 普通車 48台・大型車 5台
- ◆金額◆ 月 5,000円(税込み)

【第7駐車場】

- ◆住所◆ 白井市河原子 340-15
- ◆台数◆ 普通車 17台
- ◆金額◆ 月 5,000円(税込み)

※お貸しいただける駐車場がございましたら、情報をお寄せください。



まちぴか
報告

昨年11月の実施した秋の一斉清掃において、第3ブロック内の排水溝の詰まりや曲がったポールの修繕のご要望があり、当協議より白井市環境課に報告致しました。

現地を確認して頂き、次年度に交換等の対処の回答を頂きました。



平和台病院よりお知らせ

前回の胃部フィルム変更につき、現在胸部の撮影に使用している間接フィルムの在庫も終了するため、順次直接フィルムへの変更を余儀なくされることとなりました。

何卒、諸事情をご賢察のうえ、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

(生活習慣病健診)	価格変更前	価格変更後
協会けんぽ加入者	6,922円 / 1人様	→ 5,282円 注1
	※35歳～74歳の被保険者	
協会けんぽ未加入者	18,216円 / 1人様	→ 18,865円
注1 令和5年協会けんぽ補助額が増えたため事業所負担額が下がりました。		
(定期健康診断)		
A健診 [通常料金]	3,960円 / 1人様	→ 5,500円
A健診 [産業医契約企業様]	3,740円 / 1人様	→ 5,000円
B健診 [通常料金]	8,965円 / 1人様	→ 10,000円
B健診 [産業医契約企業様]	8,745円 / 1人様	→ 9,500円

●料金の変更開始日 **2023年4月1日より** 開始させていただきます。

いつもの挨拶から+でプラス効果

毎日、人と人が気持ちよく過ごすのに欠かせない挨拶。

そこに「ひとこと」プラスするだけで、その場がふわっと和みほっこりとした空気が流れます。

挨拶の後のさりげない一言が嬉しかった経験が誰しもあると思います。

例えば、安全に配慮した言葉をかけることにより、コミュニケーションが取れ安全意識が高まり、労働災害防止にも繋がります。

その他には、相手がしてくれた苦労や骨折りに対して「労いの言葉」にプラスして、感謝をきちんと言葉で表すことで、相手も「やってよかった」「ちゃんと役に立てたんだ」と思えるものなので、関係をより良くしてくれます

改めて挨拶の大切さを知って、少しでも気持ちの良い日々を送りましょう！！

当面の事業計画

〈会議〉

- 2月15日(水) 三役会議 10:00～ 公民センター・相談室
 - 〃 定例理事会 11:00～ 公民センター・レクホール
 - 3月15日(水) 三役会議 10:00～ 公民センター・相談室
 - 〃 第7回定例理事会 11:30～ 公民センター
 - 3月22日(水) ブロック幹事・副幹事会議 11:30～ 公民センター・レクホール
- ※次年度より定例理事会の曜日が変更になり、火曜日開催になります。

〈講習会〉 今年度は、全て終了致しました。

〈行事等〉 今年度は、全て終了致しました。

※ 次年度の計画表はホームページにも記載しております。

※ 会報は、当協議会ホームページに毎月カラー版で掲載しています。ご覧ください。

コンプレッサー個別対応型の省エネ制御装置 ESCO-ONE(エスコワン)



Outline

ESCO-ONE とは



業務用エアコン・冷凍庫・冷蔵庫のコンプレッサーの稼働状況を監視し、最適なタイミングで省エネ制御を致します。環境変化を起こさず、施設を快適性を維持しながら、消費電力の削減が可能。

空調機1台当たり、消費電力の15~20%を削減可能。導入後、電力会社より基本料金削減のデマンド低減申請を受けることができます。

また、従来見えなかった削減量をデータ化し、ISO14001の取り組み等にもご利用可能。

私たちは創業、平成8年から蓄積したノウハウと多くの実績をもとに、企業の環境対策・省エネルギー対策において、お客様の設備導入のリスクを限りなく抑え、低価格で提供することを実現しました。

販売価格（税別）

ESCO-ONE 親機（1施設に1台）	640,000円（工事費込）
ESCO-ONE 子機（1室外機に1台）	175,000円（工事費込）～

お問い合わせ

お電話でのお問い合わせはコチラから
※「チラシを見た!」とご連絡ください。

090-1764-2201

メールでのお問い合わせはコチラから

kjimai@nadeshiko-kikaku.com

販売代理店：合同会社なでしこ企画(千葉県白井市今井22-1)

販売メーカー：株式会社ユニヴァ・ジャパン(東京都港区六本木1-6-1 35F)

※ 広告内容のお問い合わせは、直接広告主にお願いします。